

厚真町花き部会が 小・中学校などに花束を寄贈

厚真町花き部会（桐木洋光部会長）は9月25日、町内の小・中学校4校などに花束を贈りました。

町内の会員14人が栽培している花のPRを兼ねたもので、小学校2校、中学校2校、町役場にカーネーションや洋菊（マム）などの花束を届けました。

上厚真小学校では、清水京子校長と児童会長の三浦菜さんがお出迎え。桐木部会長が「暑い夏を乗り越えた花です。楽しい学校生活を送ってください」と話すと、三浦さんは「きれいな花を有難うございます。玄関に置いて、皆で楽しめます」とお礼を述べました。



花束贈呈を喜ぶ清水校長と三浦さん

厚南中学校1年の渡邊聖涼さんが 公共施設を取材

厚南中学校1年の渡邊聖涼さんが10月6日、職場体験で新町シェアサテライトオフィスを取材し、利用状況をまとめました。



新町シェアサテライトオフィスを取材する渡邊さん

（以下、渡邊聖涼さんが執筆）

オフィスは、旧厚幌ダム事務所を町が改修しました。6カ月以上の利用を前提としたオフィススペース3室のほか、1カ月単位で借りられるデスクスペースとカウンタースペースが各7席あり、会議室や共用スペースなども備えています。

施設の利用率は開設当初29%でしたが、今年8月末現在で81%と向上しています。経済グループの澤井さんは「コロナ禍で、リモートワークなどを希望する人は増えました。快適に仕事ができる環境を提供して関係人口を増やしたい」と話しました。

JAとまこまい広域が新米寄贈

JAとまこまい広域の堀弘幸代表理事専務らは10月6日、厚真産の新米「さくら米（ななつぼし）」50kgを町に寄贈し、こども園や小・中・高校の給食で振る舞われました。

堀代表理事専務は「高温障害の懸念もありましたが、美味しいお米ができました」と今年の作柄を説明。宮坂町長は「改めて感謝します。さくら米をもっと定着させたいですね」と語りました。



町に寄贈された50kgの新米



花を抜き取る商工会女性部の皆さん

厚真市街地花壇で花の抜きとり

町は10月11日、厚真市街地に彩を添えていた花壇の花を抜き取りました。

花壇整備には、花フレンズや商工会女性部、地域おこし協力隊農業支援員、町職員の約30人が参加しました。まだきれいな花が咲いていましたが、参加者は名残惜しむように1株ずつ花を抜き取り、来年も苗が植えやすいように地ならししました。



交通事故死ゼロ2000日達成で 北海道知事表彰

交通事故死ゼロ2000日を達成した厚真町は9月19日、総合福祉センターで北海道知事の感謝状を受賞しました。

北海道知事感謝状は、苫小牧警察署の久田悟署長らが見守る中、胆振総合振興局の関俊一局長から町長に贈られました。関局長は「復旧・復興の中での交通死亡事故ゼロ2000日達成を喜び、皆さんと連携して交通安全運動を推進したい」と語り、久田署長は「大変価値があり、事故抑止活動に真剣に取り組まれた結果です」と話しました。これを受けて、宮坂町長は「これがゴールではなく、通過点としてさらに安全・安心の確保と大切さを身に付け、交通マナーを守っていききたい」と述べました。



北海道知事感謝状を抱えて記念撮影する関係者たち



厚真市街地交差点で交通安全を呼びかける参加者たち

秋の交通安全運動街頭啓発

秋の全国交通安全運動初日の9月21日、厚真市街地で「セーフティコールあつま」（町交通安全推進委主催）が行われました。

運動の重点目標は①子どもと高齢者をはじめとする歩行者の安全の確保②夕暮れ時と夜間の交通事故防止および飲酒運転等の根絶③自転車等のヘルメット着用と交通ルール順守の徹底④スピードダウンと全席シートベルト着用です。街頭啓発には、町内の事業所や団体、厚高生など100人が参加し、交通安全を呼びかけました。

胆振東部地震から5年を迎え、町が主催した「復興まちづくりサミット2023」が9月22日に総合福祉センターで開かれ、来場した214人は震災への教訓や復興の現状などに耳を傾けました。

サミットには、熊本県益城町の西村博則町長、熊本県西原村の吉井誠村長、宮城県栗原市商工観光部ジオパーク推進室の佐藤英和室長補佐、長岡技術科学大学の上村靖司教授、東北学院大学の定池祐季准教授ら、国内で震度7を観測・体験した自治体や関係者などが参加しました。

はじめに、西村町長、吉井村長、佐藤室長補佐、上村教授が登壇し事例を紹介。その後、定池准教授が司会を務め、「支える」「つなぐ」「伝える」をキーワードに、登壇者と宮坂町長、胆振東部地震の被災3町の代表者がそれぞれ意見を交換しました。宮坂町長は感謝の言葉と共に「全国の皆さんに、厚真町、むかわ町、安平町の今後の歩みをしっかり見守っていただきたい」とあいさつしました。

復興まちづくりサミット2023



過去の被災地の関係者と町長とのクロストーク